

氏名	江 口 浩 美
学 位 の 種 類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 3 8 6 号
学位授与の日付	昭和44年 9 月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)
学位論文題目	分娩時に於ける母児血中脂肪酸構成に関する研究
論文審査委員	教授 橋 本 清 教授 水 原 舜 爾 教授 小坂二度見

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

妊娠、分娩に伴う母児の脂質代謝環境及び産科的合併症に対する血中脂肪酸構成の診断的意義を検討するために正常婦人群、正常妊娠末期群、正常経腔分娩群、腹式帝王切開群、早産群、未熟児群、巨大児群、予定日超過群、中毒症群、仮死群の各症例につき娩出直後の母体血及び臍帯血を対象としてガスクロマトグラフィーを使用し全血の脂肪酸構成を検討した。

- 1) 正常婦人と正常妊娠末期群では鎖長延長系に明かな差を認めたが、マロルニ C O A 系には著差がなかった。
- 2) 正常妊娠末期群と娩出直後の産婦では血中脂肪酸構成に著差はなかった。
- 3) 母体血脂肪酸構成では中毒症群に著明な影響を認めた。即ち中毒症群ではリノール酸の著減とパルミチン酸の増加が特徴的であり特定脂肪酸の代謝不全が推測された。又母体血脂肪酸構成の分析は中毒症に対して診断的価値を有する。
- 4) 臍帯血の脂肪酸構成は母体及び成人とは異り、胎児は母体及び成人とは全く異なる脂質代謝環境にあると考えられる。又合併症による変動なくきわめて一定し、胎児は母体合併症の有無に拘らず安定した脂質代謝機能を営むものと考えられる。

(日本産婦人科学会雑誌 第21巻 第7号 昭和44年7月に掲載予定)

論文審査の結果の要旨

本研究は、分娩時に於ける母児血中脂肪酸構成に関する研究をしたもので、正常婦人、正常及各種の異常を伴う妊娠例及び夫々の新生児に就て、ガスクロマトグラフィーにより血中脂肪酸を計測した。妊娠及び妊娠に伴う各種合併症について母児の脂肪酸構成を追求して重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって本研究者は、医学博士の学位を得る資格があると認める。